

児童名：4年 組 作成者：浅野 弘幸 名 前 ○○ ○○				
児童の様子				
① 基礎的な学力（認知・理解面など） ・カタカナに拒否反応を示すが、スタッフが一つ一文字ずつ一緒に確認すると、全てではないが読むことができる。漢字の読みは2年生の内容で半分ぐらい読むことができる。 ・物質的な感覚は捉えていないが、かけ算の九九は一部丸暗記で覚えることができている。		② 言語・コミュニケーション ・下校直後はやや暴言もあるが、徐々に落ち着く。喜怒哀楽の表現ははっきりしている。 ・一人になる事を嫌がり、スタッフが横に座るように呼ぶ事が多い。手をつないできたり、抱きついてきたり、肌の触れ合いを求める。		
③ 興味・関心 ・じっとしていない性格で、体を動かす事に興味がある。 ・黒板を消したり、講座の準備をしたり、スタッフのお手伝いに非常に積極的である。		④ 家庭や地域での様子（社会性・対人性など） ・母親はこちらがお願いした面談を面倒だからと断るぐらい児童に関心が無い。兄弟は弟がいる。雇用促進住宅に住んでおり、祖母は同じ階の隣の部屋に住んでいる。 ・2年生の時に学校を休むこと多かった。		
年間の指導目標		年間の指導目標設定の理由		
◇3年生までの内容を理解し、本人の理解度に合わせた課題を提供する。 ◇苦手な課題の挑戦する事ができる。		◆1、2年生の内容で理解していない内容があり、自分ひとりで学習できず、勉強自体を避けようとしているため。 ◆分からない問題に取り組もうとしない。 → 本人に合わせた適切な難易度の教材を用意し、取り組む姿勢をほめる。		
スタッフ	指導内容	個別の短期目標	指導の手立て	達成状況
浅 野	・1人にさせないような人員配置を常に指示する。	・分からない問題（基本的に2年生以上の問題）に取り組む。	・スタッフが同じ席で見守り、本人が理解していない内容に取り組む姿勢をほめる。	
寺 下	・苦手な内容の理解度を把握し、教材が適切でなければ変更する。	・本人の理解度に合わせた教材を時間のロスなく提供できる。	・様々な難易度のプリントを冊子にして用意する。	